添付資料１

二見図書館のあゆみ

Akashi Futami Library Archive







～二見図書館1周年に寄せて～

二見図書館は、令和8年4月1日をもちまして、おかげさまで 1 年を迎えました。まずはじめに、イトーヨーカドー明石店には、開館後も図書館イベントの告知やスペースの貸出しなど様々な運営支援をいただきましたこと、厚くお礼申し上げます。

二見図書館は、愛称を「ふたみん」といいます。「ふたみにできたみんなの図書館」という想いを込めて地元の小学生3名が名前をつけてくれました。この名前にあるとおり、地域の皆さまに愛され親しんでいただけるよう、地域の皆さまのご協力を得ながら、一年間運営してまいりました。その甲斐もあり、開館から 1 年間で 20 万人を超える方々にご来館いただくことができました。この 20 万人という来館者は、近畿の他の中核市の中央図書館にも引けをとらない来館者数です。本当に多くの皆さまが利用していただいていることに、心から感謝申し上げます。

さて、明石市では、2025年3月に「本のまちビジョン」を策定しました。このビジョンに基づき、二見図書館が、地域の皆さまが気軽に立ち寄り、くつろいだり本を通じた交流ができる「リビング＆ライブラリー」となるよう、これまでの図書館とは少し違うコンセプトで運営しています。例えば、「おしゃべり OK」や「写真 OK」など、誰もが自由な使い方ができる図書館となっています。

また、館内には、皆さまの交流を生み出す「交流のタネ」が散りばめられています。例えば、図書館の入口で来館者をお出迎えする「情報発信明石タワー」です。地域活動をされている方々の情報発信や、「みんなでつくるおすすめ文庫」があり、展示期間を過ぎると展示されている寄贈された本を自由に持ち帰ることができます。さらに、館内には「交流伝言板」があります。質問を書き込むと誰かが答えてくれる掲示板で、これまでも学校の悩みや恋愛相談など様々な話題で盛り上がってきました。

他にも、特徴的な取り組みを行っています。様々な地域の皆さまのご意見やご協力を得ながら運営しているところです。開館前には、ワークショップを3回実施し、その中でいただいたご意見を建物や運営に生かしています。例えば、館内にはロフトがありますが、これはワークショップの中での高校生のアイデアが形になったものです。また、昨年 7 月からは、個人から団体まで無料でイベント利用できる「フリースペース」の運営を開始し、地域の方に読み聞かせや工作イベント、音楽イベントなど多くのイベントに使っていただき図書館を盛り上げていただきました。こうしたイベントを実施してくれた方々の中にもワークショップ参加者の方がたくさんおられ、また 1 周年記念の感謝祭も盛り上げていただきました。

さらに、イトーヨーカドー明石店に入っている店舗の皆さまとも共同でイベントを実施するなど、連携を進めてまいりました。このような店舗連携もワークショップの意見で出ていたものを反映したものです。

今後も、地域の皆さまのご意見を聞きながら、皆さまとともに、つくり・育てる図書館となるよう、様々な方にご協力をいただきながら楽しいイベントを実施し、多くの方にご来館いただきたいと考えています。

結びに、二見図書館「ふたみん」とともに、二見地域のさらなる魅力や賑わいの向上、そして、皆さまのご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げ、私からのメッセージとさせていただきます。

令和8年4月

明石市長　丸谷　聡子

目次

二見図書館について

二見図書館の概要 1

2025 年度の利用者数など 1

フロアマップ 1

二見図書館ができるまで

市民ワークショップ（2024 年 6 月～2025 年 2 月） 2

愛称募集（2024 年 9 月 4 日～10 月 21 日） 3

二見図書館へのメッセージ募集（2025 年 2 月頃～） 3

オープニングセレモニー（2025 年 3 月 30 日） 3

図書館運営

館内のルール 4

交流のタネ 5

実施事業

図書館主催の事業 7

市民主催の事業 10

連携事業 13

対話と共創による事業 18

二見図書館について

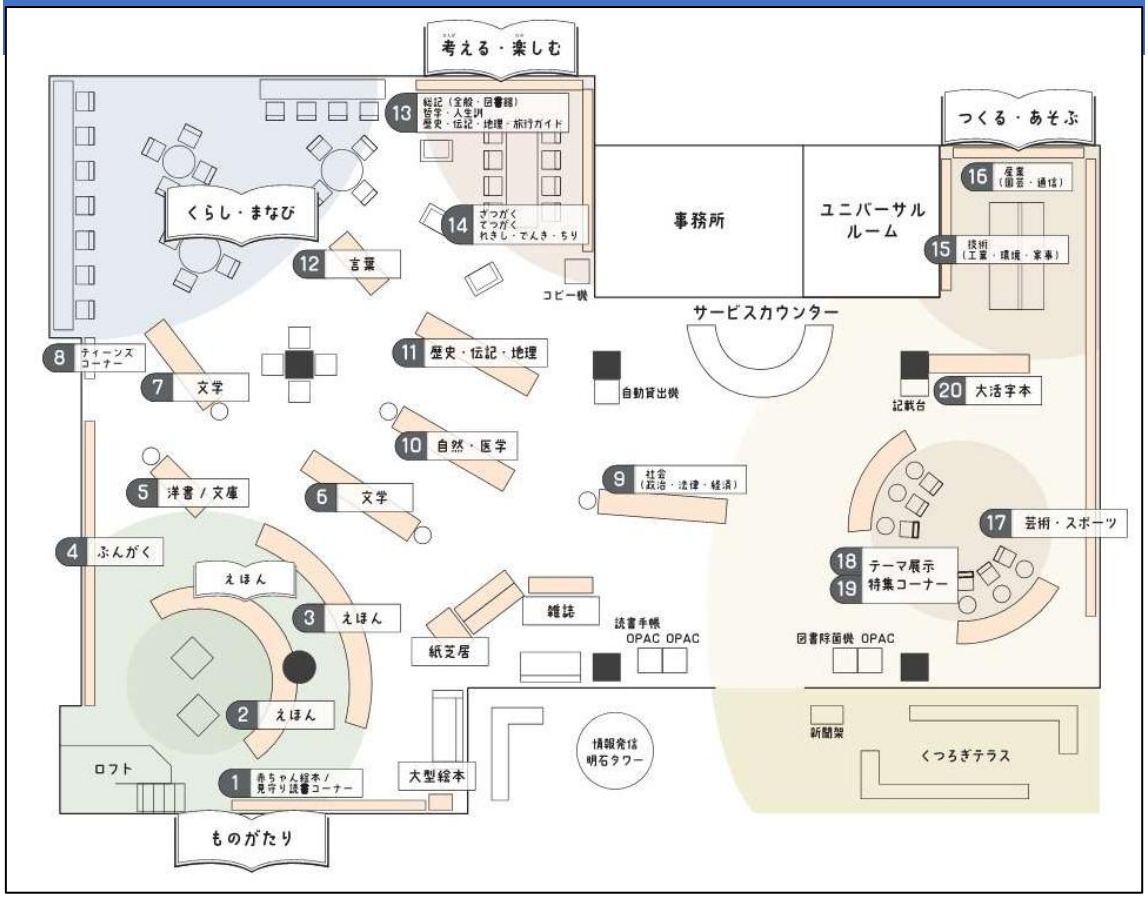
二見図書館の概要

開館日	2025 年(令和 7 年)4 月 1 日
面　積	537.78㎡
蔵書数	24,706 冊(開館時は 17,784 冊)
開館時間等	● 開館時間:9 時 30 分～19 時 00 分 ● 休 館 日:毎月第3火曜日(館内整理日) 年末年始(12/29～1/3) 長期整理日(4 月～6 月の連続した 10 日以内) イトーヨーカドーの店休日

2025 年度の利用者数など

利用者数	新規登録者数	貸出冊数
204,983 人	2,520 人	174,240 冊

フロアマップ



二見図書館ができるまで

市民ワークショップ（2024 年 6 月～2025 年 2 月）

二見図書館のコンセプトは、「誰もが買い物ついでに気軽に立ち寄りたくなる図書館」。地域の居場所・交流の場も兼ねた地域に身近な施設となるよう、2024 年度に「新しい二見図書館について考える市民ワークショップ（全３回）」を開催しました。どんな本や設備、イベントがあればいいか話し合いながら、図書館づくりに反映させていきました。



第１回（2024 年５月 11 日）



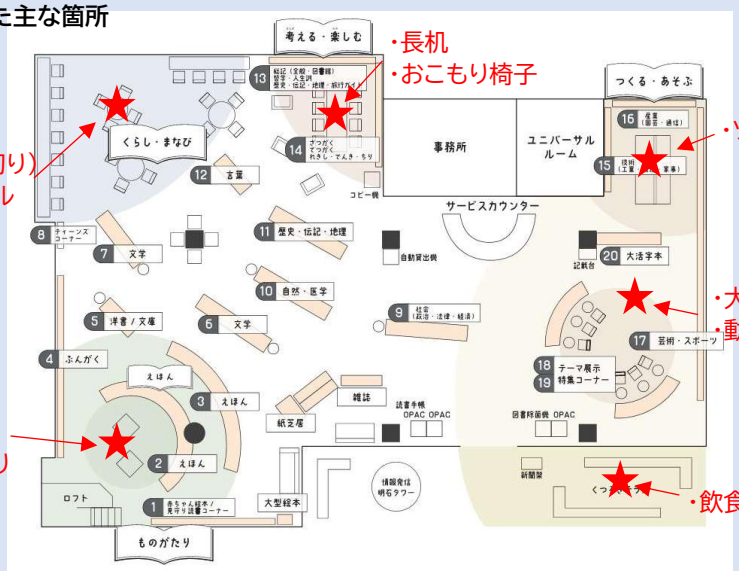


第２回（2024 年 11 月 30 日）



第３回（2025 年３月１日）

意見が反映された主な箇所



◆ 高校生のアイデアから生まれたロフト

絵本のエリアにあるロフトは、第１回ワークショップの中で特に賛成の多かった意見から設置することが決まりました。この意見を出してくれた地元の高校生は、「ロフトが実現して驚いた。意見を言ってよかった」と話してくれました。



愛称募集(2024 年 9 月 4 日~10 月 21 日)

二見図書館が地域の皆さんに愛される図書館になるよう、二見地区で愛称を募集し 97 件もの応募をいただきました（募集期間：2024 年 9 月 4 日～10 月 21 日)。結果、小学生 3 人の提案が採用され「ふたみん」に決定。提案してくれた 3 人には、オープニングセレモニーにて情報発信明石タワーのお披露目にも協力していただきました。



「ふたみにできたみんなの図書館」
という意味が込められています



タワーお披露目の様子

二見図書館へのメッセージ募集(2025 年 2 月頃～)

オープンに向けて、情報発信明石タワーに掲示する二見図書館への応援メッセージを募集しました。ワークショップやプレイベントの機会に書いてもらったり、近隣のコミセンやふれあいプラザあかし西にも設置していただきました。

→P5「交流のタネ」情報発信明石タワー



丸太型の型紙にメッセージを記入



集まったメッセージは背板に掲示

オープニングセレモニー(2025 年 3 月 30 日)

開館日の前々日にはオープニングセレモニーを実施。イトーヨーカドー明石店 1 階での式典の後、図書館内で内覧会を行いました。館内では読み聞かせイベントの他、地元の二見西まちづくり協議会による豆本づくりのワークショップも開催。多くのご参加をいただき、4 月 1 日から無事に開館することができました。



市長による読み聞かせも



大盛況の豆本づくり

図書館運営

館内のルール

静かにしなくていい図書館、誰もが多様な過ごし方ができる図書館、「**リビングアンドライブラリー**」を目指し、開館時から図書館職員と館内ルールについて検討してきました。イトーヨーカドーの館内放送が常に流れていることもあり、利用者にとっても“音の許容”がしやすい環境だったようです。禁止事項は掲げないようにしていますが、苦情やトラブルも非常に少なく、皆さんおおらかに利用されています。





おしゃべり OK	● 開館時からのルールとして設定。 ● 出入口付近に目立つように掲示。
写真 OK	● 4 月下旬ごろにルールとして明確化。 ● 他の人が写らない形なら撮影自由・SNS 投稿自由に。
どこでも勉強可能	● 5 月上旬からルールとして明確化。 ● 好きな場所で好きなことをして過ごせるように。
スマホゲーム OK	● 5 月中旬、「スマホゲームしている学生に注意してほしい」との意見があったことをきっかけにルールを明確化。 ● この時「リビングみたいに過ごせる図書館」表示を追加。
一時休憩居眠り OK	● 5 月中旬にルールとして明確化。 ● 様子を見守りつつ、必要な場合のみ声掛けをする。
携帯電話での通話 短時間なら OK	● 6 月中旬からルールとして明確化。 ● 通話は短い時間なら OK。状況次第で声掛けをする。
フリースペースでの 法人活動 OK	● フリースペースでの法人による活動を認める。図書館は主催者ではないが、ある程度内容を見て承認する形。 ● 販売や契約行為につながるものなどは実施不可。 ● チラシへの自社 HP へ誘導する QR コード掲載は禁止。

交流のタネ

▶ 情報発信明石タワー

図書館入口前にある、タコつぼを模した円形本棚です。入り口側には周辺施設・団体のイベントチラシを掲示しており、反対側では「みんなでつくるおすすめ文庫」を実施しています



みんなでつくるおすすめ文庫

メッセージとともに提供されたおすすめ本は、展示期間が過ぎると自由に持ち帰ることができます



利用方法をゲーム風の動画で案内



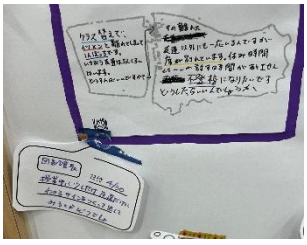
1年間でたくさんの
利用がありました

▶ 交流伝言板

質問を書き込むと誰かが答えてくれる掲示板です。利用者の交流のきっかけにと設置したところ、開館当初からたくさんのコメントで溢れました。好きな本、勉強のやり方、恋愛相談、子育ての悩みなど、さまざまな話題でいつも盛り上がっています。



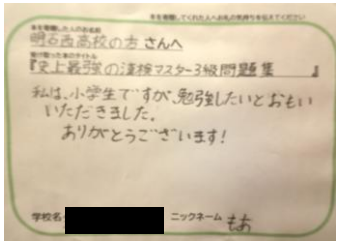
内容は定期的に更新
過去分はアーカイブしています

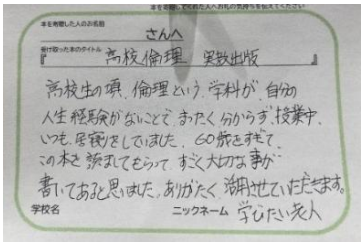


図書館長もよく
コメントしています

▶ 参考書寄贈コーナー

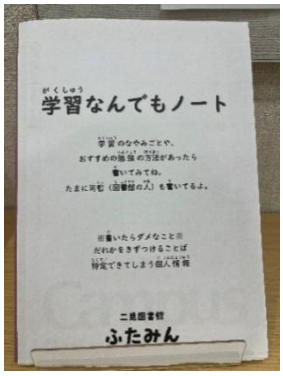
使わなくなった参考書をメッセージ付きで寄贈してもらい、必要な人が自由に持ち帰ることができます。持ち帰った人からのメッセージを掲示しています。学生だけでなく、漢字の勉強をしたい小学生や、学び直したい大人からのメッセージもありました。

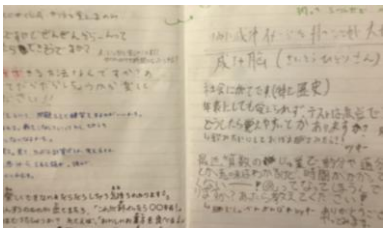




▸ 学習なんでもノート

おすすめ勉強法などの情報交換や交流ができるノート。8 月に参考書寄贈コーナーへ設置しました。その後、利用が増えてきたため入口付近に移動。最近では、勉強以外の悩み事やイラストが書き込まれていることもあります。





▸ 司書の一言コラム

8 月から各本棚に設置。図書館職員が動物になってつぶやくコラムで、内容を追いかけていくと、さまざまな棚を巡っていく形になります。見つけた人が楽しめる仕掛けとして大々的な PR はしていないので、ぜひ全てのコラムを見つけてみてください。



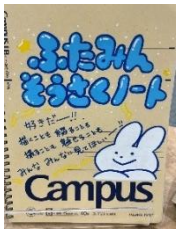
第一弾「本のタイトルしりとり」

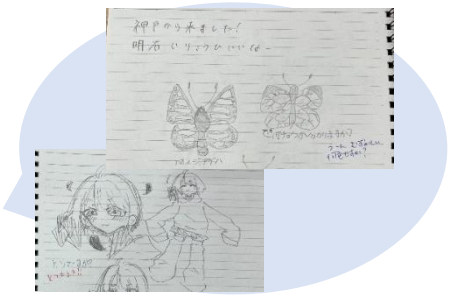


内容は毎月更新しています

▸ そうさくノート

10 月に実施したワークショップで「お絵かき帳を置いて」という意見があり、11 月から入口近くに設置した「ふたみんそうさくノート」。イラスト、詩、写真など何でも書く（貼る）ことができます。時々、職員や他の利用者からコメントが付いていることがあります。







3 月に 2 冊目に突入

◆ ふたみんのレイアウト

館内の本棚は、一般書・児童書を区別しない混合配架を採用しました。また館内にあるさまざまな種類の椅子は、毎日位置を入れ替えています。どちらも多世代が入り混じって図書館を楽しむための工夫です。





高校生が大型絵本を楽しんだり、
小さい子が高級な回る椅子に座ったりしています

司書 A

実施事業

図書館主催の事業

▸ 4～6 月

開館して間もない 4～6 月は、市民図書館と西部図書館を参考に「一日館長体験」や「転入者交流イベント」などを実施。館内のどのエリアでどのイベントを実施するのが効果的か試行錯誤しながら、夏シーズンに向けて企画を進めていました。

おはなし会



一日館長体験



転入者交流イベント
ウェルカム！ふたみ



▸ 7～9 月

夏になって小学生の来館が増え、夏休みイベント「ふたみんでなつやすみん」やお絵かきイベント「ゆめのまちをえがこう！」が盛り上がりました。また利用者からの声を参考に実施した「ボードゲーム大会」が好評で、現在も月 2 回実施する定例イベントになりました。

ふたみんでなつやすみん

なつのメッセージカードづくり



としょかんクイズラリー



ちょっとこわ～いおはなし会

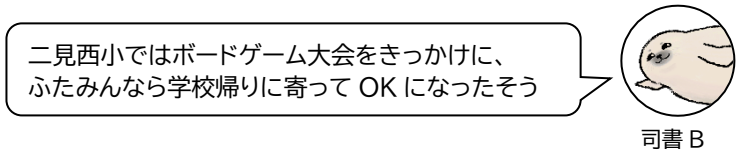


ゆめのまちをえがこう！



ボードゲーム大会





司書 B

▸ 10～12 月

読書週間やハロウィンにちなんだイベントなどを実施。また年末にシステム更新のため本の貸出ができない期間があったため、その間も利用者に楽しんでもらえるよう、普段はできないようなイベントを複数開催しました。

秋の読書週間 2025



とんとん相撲



年末イベント

図書館にらくがきしちゃおう



明石在住のイラストレーターがイベントに参加！
後にふたみんで個展を開催してくれました



赤玉おまめの
明石ーズキャラクター展



ふたみんでラジオ体操



ふたみんで歌ってみん!？



司書 C

優勝者の一人である小学生の男の子は、
前日に家でたくさん練習してきたそうです



▸ 1～3 月

館内に設置した「そうさくノート」の利用が活発だったことから、干支である馬をテーマに「おえかきコンテスト」を実施しました。また本の帯から切り抜いた五、七、五を組み合わせる「コラージュ川柳」にも挑戦。いずれもたくさんの個性的な作品が集まりました。

おえかきコンテスト



コラージュ川柳



「淀川テクニック」さん考案の参加型アートを
図書館風に本の帯でやってみました

＜図書館主催のイベント一覧＞

日程	イベント名	参加者
年間 12 回	おはなし会	延べ大人 69 名／子ども 80 名
年間20回	ボードゲーム大会	延べ大人 116 名／子ども 213 名
4/29	一日館長体験	午前：子ども 1 名　午後：子ども 1 名
	春のふたみん DAY「おはなし会」	大人 13 名／子ども 13 名
	春のふたみん DAY「4 エリア読書ラリー」	56 部
5/6	ウエルカム！ふたみ	大人 8 名／子ども 10 名
6/6	電子図書館体験会	大人 2 名
6/12～15	ユニバーサル機器使い方講座	延べ大人 21 名／子ども 9 名
6/28	手話で楽しむおはなし会	大人 12 名／子ども 12 名
6～7 月(5 回)	いきなりおりがみ講習会	延べ大人 14 名／子ども 18 名
7/18～9/7	第一回ふたみん川柳大会	応募 78 作品
7/27	なつのメッセージカードづくり	大人 9 名／子ども 9 名
8/3	みらいのふたみプロジェクト 「ゆめのまちをえがこう！」	大人 35 名／子ども 30 名
8/9～17	としょかんクイズラリー」	延べ子ども 98 名
8/17	ちょっとこわ～いおはなし会	午前：大人 16 名／子ども 13 名 午後：大人 14 名／子ども 21 名
9/25	50 代からの手作り会おりがみの時間 ～秋のリースを作ってみよう	大人 10 名
10/5	おさかなのおはなし会	大人 18 名／子ども 19 名
10/25～11/30	特集展示「秋の夜長に読みたい本教えて」	応募 46 件
10/26	ゲームだよ！全員集合　図書館で遊んでいかへん？	大人 23 名／子ども 29 名
12/1～12/28	第 1 回お絵描きコンテスト　馬	応募 101 作品
12/20	Let's 司書体験／本に関するグループインタビュー	大人 10 名／子ども 6 名
12/26	図書館にらくがきしちゃおう！	大人 10 名／子ども 25 名
12/24～26	ふたみんでラジオ体操	延べ大人 14 名／子ども 15 名
12/26	ふたみんで歌ってみん!?	(午前・午後延べ)参加：8名 観覧：大人 20 名／子ども 12 名
1/17	日経テレコン 21 体験会	大人1名
3/8	コラージュ川柳	午前：大人 8 名／子ども 7 名 午後：大人 13 名／子ども 10 名

◆　「いきなりおりがみ講習会」

大阪万博に合わせて展示していた「ミャクミャク」折り紙。複数の利用者から「折り方を教えて！」という希望があり、急きょ講習会を開催しました。また、「絵本読んで」と職員に声をかけてくれた子ども達に、その場で読み聞かせ会を開いたこともあります。利用者と職員の距離が近い、ふたみんならではの出来事です。



市民主催の事業

館内のイベントスペースを、個人から団体まで無料でイベント利用できる「フリースペース」に改め、7 月から募集を開始しました。

▸ 3 つの定例おはなし会

開館前のワークショップ参加者である「明石おやこ劇場」「よみきかせ はとの会」「ふれあいプラザあかし西」は、開館当初から定例のおはなし会を実施されています。どのおはなし会も、親子連れを中心に多くの人たちが楽しんでいます。

明石おやこ劇場



よみきかせ はとの会



ふれあいプラザあかし西



▸ フリースペース利用募集開始

7 月にスタートしたフリースペース。周知のために本のまち担当と図書館職員とで、二見地域に 8 カ所あるブックスポットと、二見・二見北・二見西まち協を訪問しました。厚生館やふれあいの里とも顔が見える関係になり、連携の基盤ができました。



▸ 音楽イベントに挑戦

“音の許容”を掲げるにあたり音楽イベントに挑戦しようとしていたところ、沖縄ソングとウクレレ演奏という 2 つのイベント申請がありました。オープンスペースで音楽という初の試みでしたが、いずれも非常に盛り上がりました。

沖縄ソングユニットうむさん



HAPPY ウクレレ



司書 D



どちらも二見北まち協への訪問をきっかけに
ふたみんを知り、申請していただいたそうです

▸ さまざまなイベントの実施

もっとも近隣にある二見西まち協は、「ふたみんを盛り上げたい」と率先して定例イベントを実施いただいています。そうしてフリースペースの利用は一年かけて徐々に数を伸ばし、2026 年 3 月末時点ではイベント主催者数延べ 25（個人／団体）、イベント数延べ 105 回となりました。これからも「みんなでつくる図書館」を目指していきたいと思います。

二見西まちづくり協議会



二見西ぽかぽか親子広場



とまり木文庫



カイロプラクティックなのはな



読書会、ワークショップ、講座、交流の場･･･
たくさんの方がさまざまな形で利用してくれています



司書 E

◆ 図書館職員たちの活躍

フリースペースを盛り上げるため、図書館職員たちは日々試行錯誤しています。主催者からの相談に乗ったり、当日参加者が少なければ 1 階フードコートまで呼び込みに行ったり、市民活動団体が集まるイベントに出向いてチラシを配ったり・・・。

またイベントの呼び水として、自らが所属するバンドグループで音楽イベントを企画したり、趣味のバルーンアートでワークショップを主催した職員もいました。ふたみんは、そうした職員たちの活躍によって支えられています。

ちちたろう郵便局



イベントでギターを演奏する
図書館職員

WITH FES 2025

ウィズフェス@ウィズあかし
出展者がフリースペース利用へ

0 組ぼっち類型



藤田さん（デザインコマ）



＜市民主催の事業一覧＞

- どようえほんの会(よみきかせ　はとの会)定例

年間 12 回開催	延べ大人 105 名／子ども 115 名

- おはなし会(ふれあいプラザあかし西)定例

年間 6 回開催(偶数月)	延べ大人 99 名／子ども 110 名

- 親子劇場の読み聞かせ 定例

年間 6 回開催(奇数月)	延べ大人 80 名／子ども78名

- つくってあそぼ(二見西まちづくり協議会)定例

年間 7 回開催	延べ大人 97 名／子ども135名

- 本とつながる時間(とまり木文庫) 定例

年間 6 回開催	延べ大人 25 名／子ども 3 名

- 元気の源は姿勢から！！(カイロプラクティックなのはな)

年間4回開催	延べ大人 21 名／子ども 15 名

- 沖縄ソング in ふたみん(うむさん)

8/27	大人 25 名／子ども 2 名

- HAPPY ウクレレ演奏会(HAPPY ウクレレ)

8/29	大人 46 名

- ちちたろう郵便局 in ふたみん(ちちたろう郵便局)

8/31	大人 48 名／子ども 16 名

- バルーンアレンジワークショップ(Naughty Ranger)

10/4	大人 1 名／子ども 20 名

- 二見西ぽかぽか親子広場

11/10	大人 14 名／子ども 10 名

- 明北天文祭(明石北高校科学探求部天文研究班)

年間 2 回開催	延べ大人 44 名／子ども 53 名

- ひなまつりリースをつくろう(0 組ぼっち類型)

2/7	大人 60 名／子ども 58 名

- デザインコマをつくろう(藤田伸之)

2/15	大人 12 名／子ども 19 名

- 性教育カフェ(NPO 法人 HIKIDASHI)

2/15	大人 8 名／子ども 3 名

- 演奏会リハーサル(リコーダーアンサンブルリコピー)

3/10	大人 10 名／子ども 2 名

- 明石―ズキャラクター展(赤玉おまめ)

3/18～25	※イラスト展のため参加者数なし

連携事業

▸ 学校との連携

- **兵庫県立明石西高等学校**

二見図書館のすぐ近くにある西高は、開館して間もない 4/20 に図書館見学に来てくれました。また 6/4 には 2 年生教育類型で毎年実施している「ビブリオバトル決勝戦」を二見図書館で実施。周囲で立ち止まり発表を熱心に聞いている来館者も多くいました。



決勝の様子は館内の
モニターで放映しています



優勝者に図書館長からトロフィー授与

「若い方は活字離れしてると聞くけど、みんなしっかりしてるなあ」と、見学していた年配の方が感心していました



司書 F

- **兵庫県立明石北高等学校**

北高の科学探求部天文研究班が、フリースペースで 2 回イベントを開催してくれました。折り紙による天体制作や VR プラネタリウム、電気回路パズルなど、自分たちの取り組みを子どもたちが楽しめる形で披露してくれています。

→P10～12 市民主催の事業」



自主制作のチラシ



イベントスタッフも自分たちで

◆ 参考書の提供

二見中学校、明石西高等学校、播磨南高等学校に呼びかけ、卒業生などから使い終わった参考書の提供に協力してもらっています。

→参考書寄贈コーナー（P5「交流のタネ」）



▸ **イトーヨーカドー他店舗等との連携**

- **くまざわ書店（3 階）**

店舗連携第一弾として、7 月から双方に「くまふた文庫」を設置しました。司書と書店員それぞれのおすすめ本を展示しており、展示内容は定期的に入れ替えています。ネーミングは「くま」ざわ書店と「ふた」みんから。



くまざわ書店側



ネーミングから連想して置いたぬいぐるみ
たまに小さい子が遊んでいます

- **アカチャンホンポ（3 階）**

店舗連携第二弾。10 月、アカチャンホンポで行われるハーフバースデーイベントで図書館職員が読み聞かせを行い、また「1 才誕生日」を二見図書館で開催しました。毎月のイベントであるハーフバースデーはその後も図書館で継続開催しています。





- **ひごペット（3 階）**

12/1～20 の期間中、館内で実施した「あつまれ！ひご×ふたアニマル調査隊」では、動物パズルや、本を使った動物の重さ比べなどを展示しました。また、ひごペットのカフェスペースに、動物に関する本を集めた出張本棚「デリバリーふたみん」を設置しました。







「デリバリーふたみん」

● **カーブス（2 階）**

3 月に「デリバリーふたみん」を設置。女性専用フィットネスであるカーブスは図書館と利用者層が近く、デリバリーふたみんからの貸出も活発です。図書館にはカーブスの紹介とメルマガを展示しています。





● **イトーヨーカドー明石店**

開館前のプレイベントやオープニングセレモニーをイトーヨーカドー明石店内で実施させていただきました。また開館後も、図書館位置図やイベントポスターの掲示など、さまざまな点で協力していただいています。



プレイベントや事前登録会を
3 階イベントスペースで実施



1 階催事スペースで開催した
オープニングセレモニー

▸ 地域との連携

西部文化会館・二見中学校・二見コミセンで開催された二見町合同文化祭「ふたみみんなのまつり 2025」に、二見図書館も出演。二見西まち協のブースをお借りして、読み聞かせイベントを行いました。



好評をいただき、2026年も出演させていただくことになりました！

司書 G

▶　行政との連携

明石市役所のさまざまな部署との連携はもちろん、ハローワーク明石主催のイベントも開催しました。館内のパネル展示だけでなく、フリースペースを使ったイベントも多く実施。当日の飛び入り参加が多いのも、買い物ついでに寄れるふたみんならではの特徴です。

「性的少数者の人権」パネル展



終活＆ACP について



対話と共創ウィーク

みらいの明石を語り合いつくろう！
ワークショップ



絵本の読み聞かせ＆塗り絵で考える
ありのままがあたりまえのまち



ママの働き方準備室



こども夢文庫交流会



二見を歩いて再発見

「二見のむかし」写真展



二見まち歩き



＜行政との連携事業一覧＞

- プライド月間(インクルーシブ推進課)

6/3～6/30	「じぶんをいきるためのルール」パネル展	
	「性的少数者の人権」パネル展	
6/29	絵本の読み聞かせ	大人 12 名／子ども 11 名

- 里親月間イベント(こどもセンター里親担当)

10/1～ 10/22	里親月間パネル展示	
10/5	オリジナル缶バッジをつくろう！	子ども80名(85 個作成)

- あかし対話と共創ウィーク(産官学共創課)

10/23 ～11/4	「あかし対話と共創ウィーク」パネル展示	
10/29	絵本の読み聞かせ＆塗り絵で考える　ありのままがあたりまえのまち	大人 4 名／子ども 6 名
10/30	みらいの明石を語りあい創ろう！ ワークショップ	大人 7 名／子ども 3 名

- 終活＆ACP(人生会議)について(社会福祉協議会)

11/21	大人 7 名

- 2025 年度こども夢文庫研修会・交流会(公益財団法人こども財団)

12/9	大人 20 名

- ママの働き方準備室(ハローワーク明石)

2/16	大人 9 名／子ども 4 名

- 二見を歩いて再発見(歴史文化財担当(市史編さん担当))

2/20 ～3/30	「二見のむかし」写真展	
3/15	座学講座	大人 19 名
3/20	二見まち歩き	大人 14 名

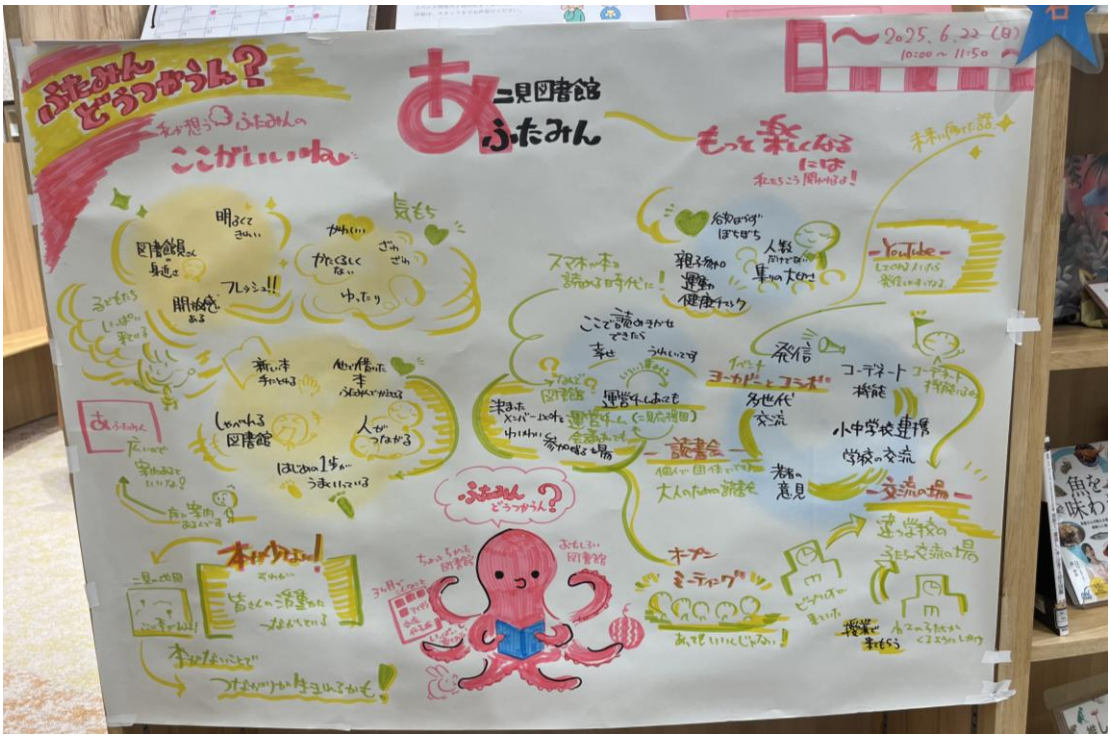
対話と共創による事業

▸ 市民ワークショップ

ふたみんが開館してから 3 回の市民ワークショップを開催。「ふたみんをどう使ってもらうか」を主なテーマにさまざまな意見をいただき、運営に反映していきました。

● 第 1 回ワークショップ

日時	タイトル	参加者
6 月 22 日 10:00～	みんなで考えよう ふたみん、どうつかうん？	大人 10 名



まち協やボランティア団体など、「ふたみんで何かしてみたい」人たちが参加。ふたみんができた感想や自分たちがやってみたいこと、使い方のイメージなどを共有しました。

➡ このワークショップの後、フリースペース運用スタート（P10～12 市民主催の事業」）



ワークショップでは自由なアイデアがたくさん！
「ふたみんのやわらかい雰囲気がイイ」という声も

司書 H

- **第２回ワークショップ**

日時	タイトル	参加者
10 月 26 日 10:00～	ふらっとよってみん？妄想図書 in ふたみん ～こんな図書館あったらいいな～	大人 26 名 子ども 18 名



より気軽に参加できるようタイトルを工夫し、当日来られなくても事前に意見を寄せられる形で実施。自由なアイデアがたくさん集まり、後に実現したものもいくつかありました。

「そうさくノート」を設置（P5～6「交流のタネ」）
年末にお絵かき、ラジオ体操、カラオケ大会を実施（P7～9「図書館主催の事業」）

- **第３回ワークショップ**

日時	タイトル	参加者
3 月 1 日 10:00～	ふたみんどうつかったん？ これからどうつかう？	大人 14 名



フリースペースを利用してくれた人たちと一緒にふたみんの一年間を振り返り、来年度に向けた意見交換を行いました。

▸ 市民ボランティア

図書館の仕事に関わる機会づくりとして 5 月に「ふたみん応援団」を募集し、5/31 から活動をスタート。現在 8 名が登録し、1 か月に 1 回活動しています。内容は本の整理や修理、おすすめコーナーづくり、POP づくりなど。令和 8 年度も新たにメンバーを募集する予定です。





活動記録

5/31	9 名
7/19	大人 4 名／子ども 3 名
9/20	大人 4 名／子ども 2 名
10/18	大人 2 名／子ども 3 名
11/15	大人 2 名／子ども 2 名
12/20	大人 2 名／子ども 3 名
1/17	大人 2 名／子ども 3 名
2/21	大人 1 名／子ども 2 名
3/21	大人 1 名／子ども 1 名

ふたみんひと図鑑

開館して一年間、多くの皆さんによって支えられてきたふたみん。開館一周年を記念して、これまでふたみんを使ってくれたさまざまな人たちにご協力いただき、「ふたみんひと図鑑」を作成中です。その人（団体）自身と、その人から見たふたみんを紹介する内容となる予定です。





これからもたくさんの人とつながっていきたいと思います。
今後ともふたみんをよろしくお願いいたします

司書 I

二見図書館

ふたみん

発行／明石市 プロジェクト推進室 本のまち担当　2026 年 4 月